

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
スキル教育科目	英語スキルⅡ	今村 洋美	問題解説に加え、発展した知識も教授することで、学修意欲を高めている点
		水野 友貴	英語力に自信の無い学生でも無理なく取り組めるペースで授業を進め、内容理解を深めている点。単語テストの出題範囲の明確化により、自主学習の効果を高めている点。
		青木 由香里	毎回の宿題を苦痛に感じさせない運用上の工夫。授業で回答を間違えた学生に丁寧に説明をしている点。
		大坪 知佳	グループワークやアクティビティの実施により、受講生の学びへの関心向上に努めている点。
		竹内 美都	詳細な内容にも触れることで、受講生の学修意欲向上に繋げている点。
		中山 麻美	グループワークの実施により、受講生の熟考を畝がしている点。
		中馬 隼人	平明な説明により、難解な内容への理解を促している点。グループワークにより、受講生間の交流を深め、楽しみながら学ぶ機会を提供している点。
		中馬 隼人	受講生の反応を見ながら、わかりやすく説明することで、受講者の内容理解促進を図っている点。
		田崎 佑	講義の難易度・進行や、英語を楽しめるプログラムの実施など、受講生の「英語に対する抵抗感」を軽減させようとする姿勢を前面に出している点。
		尾野 理音	丁寧な授業進行により、英語に苦手意識を持つ受講生にも理解を促している点。まとめプリントの提供により、受講生の学習効果の最大化を図っている点。
	英語スキルⅣ	今村 洋美	講義前の小テストにより、予習復習ができて、理解が深まった。
		三島 恵理子	流麗な発音と、受講者の緊張を和らげる柔和なコミュニケーションにより、円滑な授業運営を行っている点。受講生が学修成果を自覚する機会を授業内で設けている点（対話力の伸長）。
	情報スキル活用	石坂 千佳	丁寧な説明とサポーターの利活用により、受講生の理解の深化に繋げている点

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
スキル教育科目	情報スキル活用	藤井 隆司	授業冒頭のタイピング練習により、受講生の到達レベルを可視化している点。グループワークを通じて、アニメーション等の構造を体感させ、理解に繋げている点。
外国語教育科目	中国語入門 I	李 麗	初修者に対する初歩からの丁寧な対応と、ペアワークの実施により実践力の向上を図っている点。
教養課題教育科目	日本の歴史と文化	和崎 聖日	映像や書籍の活用により、内容理解の深化に繋げている点。
	芸術の世界	水村 さおり	休憩時間を設けることで、受講生の集中力維持を図っている点。
		上原 永子	スライドに提示した内容に対し、雑学的な知識も加えることでインパクトを与え、受講生の内容理解に繋げている点。配付資料に余白を設け、受講生に自発的なメモを促している点。
	映像を読む	小林 貞弘	映像視聴の間に解説を加えることで、内容理解に繋げている点。
	哲学と思考	鈴木 順子	・受講生が思考・価値観の多様性を認識し、自らの視野の拡大に繋がっている点。 ・スマホ禁止（デジタルデトックス）、座席指定、休憩時間設定等の諸施策により、受講生の集中力維持に繋げている点。 ・コメントペーパーにおいて、モチベーション向上に繋がるフィードバックを行っている点。 ・「恋愛」という大学生にとって重要なながらも、日頃は真剣に話す機会が限られた内容をテーマとした意見交換を行うことで、多様な学部・学科で構成される受講生間および担当教員とのコミュニケーションの活性化を図っている点。 ・テスト前の振り返りにより、内容理解の深化を促している点。 ・配付資料に書き込み易さが考慮されている点。 ・リアクションペーパーの活用により、受講生自身に内容の振り返りを促し、出席管理の厳密化にも繋げている点。 ・スクリーンを活用してマーカーを引きながら解説することで、内容理解を促している点。 ・毎回、前回の授業の振り返りを行うことで、知識の定着を図っている点。 ・プリント、スライドを見る時間と、板書の時間を分けることで、内容理解の深化を促している点。
	物理と自然	平山 貴之	オンデマンドでも板書。文系でも理解できる説明。
	化学と物質	山田 直臣	講義の丁寧な進行、分かりやすいスライドの作成等、運用上の工夫に加え、受講生の質問にも真摯に対応している点。

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
教養課題教育科目	問題解決のための統計学入門	後藤 振一郎	動画やメモ書きの活用により、内容理解に繋げている点。
特別課題教育科目	地域共生実践	竹内 環 戸田 香 伊藤 正晃	毎回の授業開始時に受講者の目線合わせを行うことで、グループワークの効果向上に繋げている点。
	地域の防災と安全	杉井 俊夫 武田 誠 渡部 展也 山下 靖幸 江尻 晴美 余川 弘至 荒川 尚子 大屋 富彦	受講生に、学修成果（防災意識向上）を意識させている点。
	グローバル環境論	山田 裕子	資料や映像の効果的な使用により、内容理解に繋げている点。
健康とスポーツ	健康科学	渡辺 武弘	受講生が健康について再認識する機会を与えている点。
	スポーツC	櫛田 亮介	受講生が回を重ねるごとにレベルアップを実感できる運営上の工夫。
リベラルアーツ教育科目	リベラルアーツ課題演習A	鈴木 順子 水村 さおり	・グループワークの進捗を確認して時間を調整する、受講生に話しかける機会を多くとる等、一人ひとりに寄り添った対応を行っている点。 ・受講生が決めたテーマによりディスカッションすることで、主体性を持たせている点。 ・ディスカッションの際、担当教員が常に中立の立場を保つことで、円滑な進行を図っている点。 ・人前で発言することに苦手意識のある受講生でも話しやすい雰囲気づくりを行い、受講生の自信に繋がるような運用上の配慮。 ・ディスカッションの始めに自分の意見を紙に書かせることで、受講生が周りの意見に流されることなく発言できる運営上の工夫。 ・受講生がより多様な意見を聴取し、他学科学生との交流を深めることができるよう、途中回でディスカッションのグループ替を行っている点。 ・授業外の課題を楽しみながら取り組める、運営上の工夫。 ・受講生の発表に対して、意見を否定することなく、示唆に富んだ質問を行っている点。 ・受講生に「他者と話し合うことの大切さ」を実感させる運営上の工夫。
	リベラルアーツ課題演習B	鈴木 順子 古澤 礼太	他学部の学生との交流。

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
工学部共通科目☒ 理工系教育圏科目	データサイエンスの基礎	後藤 振一郎	動画形式の授業を取り入れることで繰り返し視聴による復習を可能にし、受講者が自身の理解度に応じて学習を進められるよう工夫している点
機械工学科専門科目	機械工学実習B	平沢 太郎	間違いや理解不足の箇所に対して丁寧に対応する姿勢により、受講者が安心して学習に取り組める環境を整え、理解促進に寄与している点
	機械工学実習B	米村 茂	完成物を作成し持ち帰ることができる実習形式により、学修成果の実感につなげている点
	機械力学B	安達 和彦	内容の理解や学習意欲を促進する授業運営をされている
	生産加工学B	濱崎 洋	動画の活用により具体的な事例を示すことで、内容理解を視覚的に支援している点
	水力学A	米村 茂 伊藤 高啓 平沢 太郎	演習問題に対する後日の解説動画によるフォローを行うことで、授業時間外においても理解を補完できる体制を整えている点。
	エネルギー変換	波岡 知昭	技術者として必要な知識や視点を体系的に提示するとともに、予習資料として重要事項を整理している点で主体的学習を支援している点。
	機械設計製図B	堀 康德	内容の理解や学習意欲を促進する授業運営をされている
都市建設工学科専門科目	部門創成B	伊藤 睦 服部 敦 磯部 友彦 杉井 俊夫 余川 弘至 岡本 肇 柴原 尚希 武田 誠 並松 沙樹	解析ソフトの活用やシミュレーションを取り入れることで、実践的な学びを提供し将来の活用を意識した理解を深めている点。
応用化学科専門科目	無機化学B	石川 英里	整然としたパワーポイント資料を提示することで、学習内容を視覚的に理解しやすくしている点
	無機化学演習	石川 英里 坂本 渉	難しい問題についても分かりやすい解説を行うことで、受講者が自力では理解しにくい内容を適切に補完している点。丁寧な板書と、図や色の工夫により受講者に復習しやすいノート作成を促している点。

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
応用化学科専門科目	化学工学A	二宮 善彦	毎回の理解度テストにより復習の習慣化を促すとともに、設問形式の工夫により解法手順の理解を支援している点。
	有機化学実験B	饒村 修	実験の予習資料を丁寧に整備することで、事前に内容と各回の目的の理解に繋げ、受講内容の充実に繋げている点。
情報工学科専門科目	情報数学	松井 藤五郎	・受講生が躓きがちな内容に配慮し、終始わかりやすい授業を展開している点。 ・ノート・授業動画・過去問・解答例の公開や採点結果の返却など、多面的な学習支援を整備することで授業外学習の環境を整備し、継続的な理解促進を実現している点。
電気電子システム工学科専門科目	電力工学	中村 圭二 山本 和男	・受講者を孤立させない工夫や興味を惹く話題提供により、授業への参加意欲と集中力を高めている点 ・受講生に寄り添った進行により、理解の定着を実感させている点 ・教員の経験談を授業に取り入れることで、内容への関心を喚起している点 ・毎回の小テストを通じて理解度の確認と復習機会の確保を行い、学習内容の定着を促進している点 ・ノート提出を求めることで主体的な記録と整理を促し、学習内容への深い理解を促している点
	電子デバイス工学	後藤 英雄	受講者を惹きつける授業運営により学習意欲を向上させるとともに、試験の実施方法にも配慮している点。
	電力応用システム	山本 和男	わかりやすい説明に加え、ノート作成の時間を確保することで単なる作業にとどまらず、理解と記憶の定着を意識した学習を促している点。
経営総合学科専門科目	経営総合	森岡 孝文 威知 謙豪 前田 和昭 西田 豊昭 清水 真	教員ごとに異なる授業方法を取り入れることで、多様な視点と新鮮さを保った学習環境を提供している点。前回の授業での質問に対するフィードバックを行っている点。
	経営組織論	寺澤 朝子	振り返りシートの活用により他者の考えに触れる機会を設け、理解の深化と視野の拡大を促している点。
	基礎ゼミナール	白川 智弘	プレゼンテーション機会を設けることで資料作成および発表能力の向上を図り、実践的な能力育成に寄与している点。

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
経営総合学科専門科目	基礎ゼミナール	仁川 栄寿	重要事項を繰り返し伝えることで振り返りの機会を提供し、理解の定着を図っている点。
	プログラミング入門A	龍岡 亮二	実習課題の内容について個別に確認し、誤りがあれば丁寧に指導することで、内容理解を支援している点。
	I T 基礎A	箕浦 勇人	豊富な経験・知識による卓越した教授力
	経営分析論	仁川 栄寿	学生にとって何が必要化を真摯に伝える姿勢が、学びの意義付けにつながっている点。
	多変量データ分析	市原 寛之	Excelの機能を数学的な定義や性質に基づき説明することで、本質的な理解を促している点。
	シミュレーション	白川 智弘	明確で分かりやすい説明に加え、発表の機会を設けることで、理解の確認に繋げている点。
国際学科専門科目	政治と法	梅川 佳子	アニメや映画など身近な題材を取り入れることで、楽しみながら内容を理解できるよう工夫されている点。
	世界の言語	伊藤 正晃	・ 未知の内容をわかりやすく伝えようとする教員側の熱意と工夫が、受講者に伝わっている点。 ・ 教員が巡回して理解状況を確認しながら指導することで、受講者が授業についていけるよう支援している点。
	国際英語ⅡB	ジョン ポーリック	個人および協働による問題演習を組み合わせることで、多面的に学力を伸ばす機会を提供している点。
	国際基礎演習	澁谷 鎮明	授業内での発表について、教員が実例を示すことで技能の定着を支援している点。
日本語日本文化学科専門科目 メディア情報社会学科専門科目 コミュニケーション学科専門科目	西洋文化史	伊藤 裕子	受講生の興味を惹く内容により授業を展開すると共に、私語に対する適切な指導を行うことで、受講生が集中力を維持できる環境整備に努めている点。
	民俗学入門	越川 次郎	・ 要点を整理したレジュメを用いることで理解を深めるとともに、質問対応により内容の補完を行っている点。 ・ 地域ごとの特色を丁寧に説明するとともに、聞き取りやすい速度で解説を行うことで深い理解を促している点。

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
心理学科専門科目	心理演習（調査）	松木 祐馬 川上 文人 佐藤 洋大 伊藤 史 杉浦 祐子 森川 華帆 志水 勇之進 建部 智美	授業外の時間も含めて丁寧に添削指導を行うことで、受講者の理解と学習意欲の向上に寄与している点。
	神経・生理心理学	米山 薫	・毎回の課題において受講生自身による説明を取り入れることで、自身の理解度を把握しながら学習を進められるよう工夫されている点。 ・実験を実際に体験させた上で説明を行うことで、体験と理論を結び付けた理解を促進している点。
	文化心理学	森泉 哲	受講者自身が考える場面を多く設けることで主体的な思考を促すとともに、具体例を用いた説明により理解を深めている点。
	人体の構造と機能及び疾病	西沢 祐治	授業の動画を毎回撮影していたかどうかはわからないが、復習用に公開していることがよい取り組みである。
歴史地理学科専門科目	地域調査の基礎	大塚 俊幸 安本 晋也 末田 智樹	Excelの操作方法を丁寧に指導することで、実践的な技能習得を支援しスムーズな学習を実現している点。
	郷土の歴史	勝亦 貴之	身近な地域の歴史を扱うことで受講者の興味関心を引き出すとともに、リアクションペーパーを通じて理解を促進している点。
歴史地理学科専門科目	日本史の文献を読むB	篠宮 雄二	事前読書を前提とした授業構成と段落ごとの解説により、主体的な準備学習と深い理解を両立している点。
メディア情報社会学科専門科目 コミュニケーション学科専門科目	フレッシュマンセミナー	小川 順子 山本 明 石川 達哉 王 昊凡	・プレゼンテーションを取り入れた実践形式の授業により、講義と実践の両面から学習効果を高めている点。 ・質問に対する丁寧な対応や、学生発表後の適切なコメントにより、安心して学べる環境整備と理解の深化に努めている点。
	メディア・クリティシズムA	山本 明 石川 達哉	講義に加えてグループワークや発表を取り入れることで、実践的な理解と学習効果の向上を図っている点。

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
メディア情報社会学科専門科目 コミュニケーション学科専門科目	映像情報デザインB 映像クリエーションB	河村 陽介	基礎から段階的に説明することで、初心者でも無理なく理解できる内容構成に努めている点。
		高橋 秀	質問への真摯な対応と明確なフィードバックにより、学習意欲の向上と理解の深化につなげている点。
応用生物化学科専門科目	推計学入門	鈴木 孝征	解説付きのノートを提供することで授業内容を振り返りやすくし、復習と理解の定着を支援している点。
	基礎生物学・基礎化学実験	愛知 真木子 伏見 圭司	レポート作成において記述すべき内容を明確に示すことで、受講者が迷わず取り組めるよう配慮されている点。
食品栄養科学科食品栄養科学専攻専門科目	生物化学実験B	吉村 和也	反復練習により操作を習得させた上で理論説明を行うことで、実践と理解を段階的に深める授業構成となっている点。
	食品リスク予防学	渡部 貴志 津田 憲	食品会社の現場に関する実務的な話を取り入れることで、現実に応じた理解と興味関心の向上につなげている点。
食品栄養科学科管理栄養科学専攻専門科目	健康心理学	石川 美由紀	・実習での経験談を通じて、多様性に関する理解を深めている点 ・受講者の反応を見ながら問いかけを行うことで、双方向的な授業を実現し主体的な学習を促している点 ・スライドを用いて内容を整理して説明するとともに、外部講師の講話を取り入れることで理解の深化と学びの広がりをも促している点
	生化学Ⅱ	呂 鋭	・試験で重要なポイントを明示するとともに質問に丁寧に対応することで、理解の定着と学習意欲の向上を図っている点 ・重要事項を色分けした視覚的に理解しやすいプリントの提供により、受講生の自主学習を促している点 ・スライドと穴埋め形式のプリントを併用することで、講義内容の整理と記憶定着を効果的に促進している点
保健看護学科専門科目	基礎看護技術Ⅰ（生活援助）	堀 文子 夏目 美貴子 小松 万喜子 早瀬 良	・穴埋め形式や小テストによる振り返りに加え、実習での丁寧な指導により理解と技能の定着を図っている点。 ・講義と実習の双方で基礎的な援助内容を丁寧に指導することで、看護の基礎理解を着実に深化させている点。
	看護過程演習	小松 万喜子 堀 文子 夏目 美貴子 早瀬 良	複数の教員配置と声かけにより質問しやすい環境を整備し、理解を深めやすい体制となっている点

2025年度秋学期 授業における優れた取り組み (Good Practice) 一覧

科目区分	科目名	担当教員	取り組み内容
保健看護学科専門科目	母性看護学Ⅱ（周産期および新生児の看護）	横手 直美 山下 恵	各期の課題設定を通じて復習と自己学習を促し、継続的な理解の定着につなげている点。
臨床工学科専門科目	医用機器安全管理学A（医用電気機器、医療ガスの安全管理）	武田 明	実物を提示することで視覚的理解を促進し、学習内容を記憶に定着しやすくしている点。
	機械工学	大岩 照宜	苦手意識を持つ分野についても分かりやすく説明することで、学習意欲の向上につなげている点。 单元ごとの小テストにより、内容理解の定着に繋げている点。
	医用生体学演習	平手 裕市 中井 浩司	分かりやすい説明に加えて授業外の質問対応も丁寧に行うことで、継続的な学習支援を実現している点。
	人工呼吸装置学実習	中井 浩司 福田 信吾 沖島 正幸 谷 亮太 澤田 知広 齊藤 委住	・複雑な機器の仕組みについて分かりやすく説明することで、専門的内容の理解を助けている点。 ・外部講師の参画により、多様な視点から学習できる環境を提供している点。
スポーツ保健医療学科専門科目	生体計測論・実技	伊藤 守弘 青山 友佳	視覚的に分かりやすい資料を継続して提供することで、学習内容の理解を支援している点。
幼児教育学科専門科目	子どもの食と栄養B	吉田 衣里	実習と座学の双方で、わかりやすい説明と見やすい資料を提供し、総合的な内容理解の深化に繋げている点。
現代教育学科専門科目	発達臨床心理学	古市 真智子	グループ発表等の活動を取り入れることで、主体的な参加と深い理解を促している点。
宇宙航空理工学科専門科目 宇宙航空学科専門科目	構造力学	池田 忠繁	実践的な内容により受講生の学びへの関心を高め、実験方法に対する考察にも繋げている点。